

(16) サワラ資源造成支援事業

予算

運営費交付金、瀬戸内海栽培漁業推進協議会補助金

概要

サワラの種苗放流による「資源造成型」の栽培漁業を展開するため、瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎において、瀬戸内海11府県協力の下で、サワラの共同種苗生産が実施され、全長42.0mmの種苗63.7千尾が生産された

この種苗の内、8.3千尾を活魚タンクに収容して西鳥取漁協地先海面まで輸送し、6月6日から6月15日まで同海域に設置した小割生け簀で中間育成を行った後、平均全長76.5mmの種苗5.8千尾を西鳥取漁協地先に放流した。また、放流効果を把握するため、8月から11月にサワラ流し網による漁獲物178尾のサワラを入手し、耳石ALC標識の有無を蛍光顕微鏡より観察した。

調査方法

1. 調査地点
 - 1) 共同種苗生産：瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎
 - 2) 中間育成：西鳥取漁協地先
放流場所：西鳥取漁協地先
 - 3) 標識魚混入率調査：岡田浦漁協、尾崎漁協、西鳥取漁協、下荘漁協
2. 調査期間と実施日
 - 1) 共同種苗生産：2019年5月8日から6月5日
 - 2) 中間育成・放流：2019年6月5日から6月15日
 - 3) 標識魚混入率調査：2019年8月から11月
3. 調査項目
 - 1) 共同種苗生産への参画
 - 2) 中間育成・放流の指導・実施
 - 3) 標識魚混入率調査：耳石ALC染色個体の確認

調査結果

1. 5月26日から5月30日にかけてサワラ種苗の共同生産に研修員として参画し、平均全長42.0mmの種苗63.7千尾の生産に貢献した。
2. 6月5日から6月15日にかけて西鳥取漁協地先海面において中間育成を指導・実施し、平均全長76.5mmの種苗5.8千尾を西鳥取漁協地先海面に放流した。
3. 本年度の調査では、放流魚の混入は確認できなかった。詳細は表1の通り。

担当者

山中智之

表1 大阪府における放流魚の混入率

年級	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
0歳	調査尾数	90	78	33	87	33	43	2	12	16	2	79	5	58	3
	標識尾数※	43・6・0	32・12・0	1・0・0	5・3・0	1・0・0(1)	7・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0
	混入率(%)	54.4	56.4	3.0	9.2	6.1	16.3	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	調査尾数	0	37	34	67	55	79	166	169	176	118	146	155	171	
	標識尾数※	0・0・0	15・3・0	2・0・0	2・2・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	1・0・0	0・0・0	
	混入率(%)	0	48.6	5.9	5.9	0	0	0	0	0	0	0	0.6	0	
2歳	調査尾数	11	11	18	1	4	21	27	10	34	33	15	2		
	標識尾数※	2・0・0	2・0・0	2・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0		
	混入率(%)	18.2	18.2	11.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3歳	調査尾数	4	2	2	2	5	4	14	5	0	0	0	0		
	標識尾数※	1・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0		
	混入率(%)	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4歳	調査尾数	1	0	0	0	4	3	0	0	0	1				
	標識尾数※	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0	0・0・0				
	混入率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

※標識の種類別(ポイント・二重・リング)に標記
 グレー色が今年度調査分。
 ()内は屋島事業所試験放流群。